

Kure College		Year	2018		Course Title	システム工学	
Course Information							
Course Code		0130		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Electrical Engineering and Information Science		Student Grade		4th	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials							
Instructor		Hirano Akira					
Course Objectives							
1. ものづくりに必要な知識を高める。 2. 製作物の計画・設計を行う。 3. ものづくりの実践を行う。							
1. 製作物の試験・評価を実施する技術を習得する。 2. 実習成果の報告書作成技術を習得する。 3. 実習成果のプレゼンテーション能力を習得する。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ものづくりの実践を適切に行う		ものづくりの実践を行う		ものづくりの実践を行えない	
評価項目2		製作物の試験・評価を実施する技術を適切に習得できる		製作物の試験・評価を実施する技術を習得できる		製作物の試験・評価を実施する技術を習得できない	
評価項目3		実習成果のプレゼンテーション能力を適切に習得できる		実習成果のプレゼンテーション能力を習得できる		実習成果のプレゼンテーション能力を習得できない	
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
Teaching Method							
Outline		電気情報工学のものづくりを実践し、ものづくりの技能を身に付ける総合学習を行う。作成した成果は雑誌への投稿や、コンテストへ応募するなど学外で評価を受けることを目標に設定しているので、優れた完成度の高い作品を作らなければならない。					
Style		演習を中心に行う					
Notice		優れた完成度の高い作品を製作するために、実習は計画的に行われ、十分な改良を繰り返す必要がある。もし計画に遅れが生じた場合には、どのようにしてそれを解決するのか考えて行動しなければならない。評価の低い作品には合格点は出さない。					
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	総合学習テーマの説明				
		2nd	指導教員グループのもとで実習		ものづくりのための基礎知識		
		3rd	指導教員グループのもとで実習		ものづくりのための基礎知識		
		4th	指導教員グループのもとで実習		開発環境の構築や開発ツールの習得		
		5th	指導教員グループのもとで実習		開発環境の構築や開発ツールの習得		
		6th	指導教員グループのもとで実習		スケジュールの設定と乖離が生じた場合の対処		
		7th	指導教員グループのもとで実習		スケジュールの設定と乖離が生じた場合の対処		
		8th	指導教員グループのもとで実習		スケジュールの設定と乖離が生じた場合の対処		
	4th Quarter	9th	指導教員グループのもとで実習		ものづくり実践		
		10th	指導教員グループのもとで実習		ものづくり実践		
		11th	指導教員グループのもとで実習		試験・評価・改良		
		12th	指導教員グループのもとで実習		試験・評価・改良		
		13th	指導教員グループのもとで実習		試験・評価・改良		
		14th	指導教員グループのもとで実習		試験・評価・改良		
		15th	実習成果報告会		プレゼンテーション		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	20	0	60	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	10	0	30	10	0	50
分野横断的能力	0	10	0	30	10	0	50